

科目名	キャリアデザイン4							年度	2026
英語科目名	Career Design 4							学期	後期
学科・学年	ITスペシャリスト科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	菊池(一)	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		
【科目の目的】 学生が実践的なビジネススキルを身につけ、協力の重要性を認識し、多様性を尊重したチーム活動を通じて相互理解を促進する。									
【科目の概要】 この授業では、ビジネスの現場で必要とされるグループワークスキルを身につける。学生は、実際のビジネスシナリオに基づいたプロジェクトに取り組みながら、チームワーク、コミュニケーション能力、問題解決能力を向上させる。授業はグループディスカッション、ロールプレイ、プレゼンテーションを含む多様なアクティビティで構成され、実践的な経験を重視する。									
【到達目標】 グループワークの基本を理解し、効果的なコミュニケーション能力や問題解決スキルを向上させる。また、プレゼンテーション能力を高め、リーダーシップとフォロワーシップの理解を深めることも目指す。 A:参加態度 B:コミュニケーション C:チームワーク D:プレゼンテーション									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価対象外とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	常に積極的に参加し、他のメンバーを鼓舞する。	ほとんどの授業で積極的に参加し、良い影響を与える。	時々参加し、最低限の貢献をする。	参加することはあるが、貢献度は低い	ほとんど参加せず、貢献が見られない。				
到達目標 B	自分の意見を明確かつ効果的に表現し、他者の意見を尊重する。	意見をしっかりと表現し、他者の意見にも耳を傾ける。	意見を表現するが、他者の意見をあまり考慮しない。	意見が不明瞭で、他者とのコミュニケーションが不足している。	意見を表現せず、他者との交流がほとんどない。				
到達目標 C	他者と協力し、リーダーシップとフォロワーシップを両立できる。	チームでの協力ができ、必要に応じてリーダーシップを発揮する。	チーム内での協力はできるが、リーダーシップは発揮できない。	チーム内での協力が不十分で、意見を言わないことが多い。	チームの活動に全く関与せず、孤立している。				
到達目標 D	情報を効果的に整理し、聴衆を引き込むプレゼンテーションを行う。	しっかりとした構成でプレゼンテーションを行い、聴衆の関心を引く。	一定の構成でプレゼンテーションを行うが、引き込む力が不足。	プレゼンテーションの構成が不明瞭で、聴衆の関心を引けない。	プレゼンテーションがなく、発表内容が全く伝わらない。				
到達目標 E									
【教科書】 キャリアサポートブック									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題および授業内で実施するテストの結果について評価する。授業に取り組む姿勢も評価に含まれる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアデザイン4			年度	2026
英語表記		Career Design 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	グループワークの基本	の基本グループワークの重要性を理解する。	1 グループワークの定義と目的	グループワークの基本的な理解と意義を持つ。	2	
			2 グループワークの成功要因			
			3 基本ルールの紹介			
2	チームビルディング	チームビルディングを行う。	1 チームビルディングのアクティビティ	チーム内での信頼関係を構築し、結束力を高める	2	
			2 信頼関係を築くためのアイスブレイク			
			3 グループ目標の設定			
3	コミュニケーションスキル	効果的なコミュニケーション技法を学ぶ。	1 アクティブリスニング	コミュニケーションの基本技術を実践できる。	2	
			2 フィードバックの重要性			
			3 非言語コミュニケーション			
4	役割分担と責任	チーム内での役割分担の重要性を理解する。	1 役割分担の方法	チーム内での役割を理解し、適切に分担できる。	2	
			2 役割の適正評価			
			3 責任の理解と重要性			
5	問題解決手法	効果的な問題解決手法を学ぶ。	1 問題解決のフレームワーク	論理的な問題解決アプローチを用いることができる。	2	
			2 事例分析			
			3 グループでの問題解決演習			
6	ビジネスシミュレーション (1)	実践的なビジネス課題に取り組む。	1 ビジネスシミュレーションの導入	チームでの意思決定プロセスを体験する。	2	
			2 グループでの意思決定演習			
			3 シミュレーション結果の振り返り			
7	ビジネスシミュレーション (2)	シミュレーションを通じた学びを深める。	1 前回の振り返りとフィードバック	フィードバックを基に改善案を考えられる。	2	
			2 改善案の策定			
			3 シミュレーション結果の共有			
8	プレゼンテーションスキル	効果的なプレゼンテーション技法を学ぶ。	1 プレゼンテーションの構成法	プレゼンテーションを効果的に構成できる。	2	
			2 視覚資料の活用法			
			3 リハーサル的重要性			
9	グループプロジェクト (1)	実際のビジネス課題に取り組むプロジェクトを開始する。	1 プロジェクトテーマの決定	チームでのプロジェクトに主体的に関わる。	2	
			2 役割分担の再確認			
			3 プロジェクト計画の作成			
10	グループプロジェクト (2)	プロジェクトの進捗を確認し、調整を行う。	1 進捗報告の実施	プロジェクトの進捗状況を把握し、調整できる。	2	
			2 課題の共有と解決策の検討			
			3 次のステップの策定			
11	成果発表の準備口 (1)	プレゼンテーションの準備を行う。	1 成果の整理と要点の明確化	成果発表の準備を整えることができる。	2	
			2 プレゼンテーション資料の作成			
			3 リハーサルの実施			
12	成果発表の準備口 (2)	プレゼンテーションの準備を行う。	1 成果の整理と要点の明確化	成果発表の準備を整えることができる。	2	
			2 プレゼンテーション資料の作成			
			3 リハーサルの実施			
13	成果発表 (1)	プロジェクト成果を発表し、フィードバックを受ける。	1 各グループによるプレゼンテーション	成果を自信を持って発表し、質問に回答できる。	2	
			2 質疑応答の実施			
			3 フィードバックの収集			
14	成果発表 (2)	プロジェクト成果を発表し、フィードバックを受ける。	1 各グループによるプレゼンテーション	成果を自信を持って発表し、質問に回答できる。	2	
			2 質疑応答の実施			
			3 フィードバックの収集			
15	振り返りと総括	授業全体を振り返り、学びを整理する。	1 授業の振り返り	授業全体の学びを整理し、今後の改善点を見出す。	2	
			2 学びの共有と今後の目標			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等